

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病院長 岩波 明
〔編集責任者〕 広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第195号

[2023年11月30日発]

准教授就任のご挨拶

昭和大学医学部精神医学講座 准教授 常岡俊昭

今回、准教授を拝命いたしました常岡です。ずっと好きな事だけやらせてもらって、途中では一年間バックパッカーをやらせてもらって講座のホームページに当時のブログをまだ残して頂いています。(精神科医放浪日記：未完) 帰ってきてからもアルコール依存症、薬物依存症のプログラムや診察、最近ではギャンブル障害やクレプトマニア(窃盗癖)などを好きに診させて頂いて、薬物とギャンブルに関しては拠点病院も取らせて頂いています。プライベートでも家族に無理をしてもらい有形無形に支えてもらって好きな事を好きなようにさせて頂いています。その結果なので申し訳ない気持ちで一杯なのですがせつかなので当院での依存症治療について紹介させていただきます。

烏山病院の依存症治療の特徴は自助グループとの連携です。自助グループとは何かを止めたと思っただけで止められない人と今はやめ続けている人が集まってミーティングを行ったり依存症の勉強をしたり、自分たちの人生を振り返っていくグループです。彼らの魅力を100%感じてもらえるように烏山病院では初診した患者さんにはほぼ全員自助グループへの見学・参加を勧めており、電話や対面で話してもらっています。病棟のスタッフも時に「宗教の勧誘だ」とジョークにされるほど自助グループの魅力を語りますし参加します。月一回はアルコールの自助グループであるAAのメンバーに19時半～21時に興味のある入院患者さん全員に話をしてもらおう企画も有志で行っています。この企画に毎回10人以上のスタッフが集まり患者さんも含めると100人以上が参加できる事が当院の魅力かなと思っています。

病棟では夜中までの外出を許可して自助グループに毎日行って退院後の生活を模擬体験してもらっています。夜間の帰院は看護スタッフに負担を強いてしまっていますが、その分効果は絶大で地域の支援者からも自助グループ団体などからもご評価いただいて患者さんも多く紹介頂いています。

架け橋プロジェクトといって依存症を診れる精神科医のいない総合病院に烏山チームでかけて総合病院で診察を行って烏山への受診・入院(転院)を勧めています。今のところ「精神科なんて絶対行きたくない」と言っていた人の40%程度は烏山に繋げる事が出来ており、精神科病院学会でも賞を頂くなど評価されています。こんな感じでスタッフが楽しく患者・家族のために働ける今の環境が維持されると良いかなと思っています。今後ご支援よろしくお願ひします。



デイケア 陶芸展示会



10月24日から11月8日まで、デイケアにて陶芸プログラムの展示会を行っており、広報委員会としてメンバーの方に取材をさせていただきました。

ランプシェードから置物、貯金箱など様々な作品が展示されており、どの作品もメンバーの方のこだわりが詰まっている印象を受けました。実際に作品を製作された方にお話を伺ってみたところ、「作品の一部にビー玉を詰めて焼き、ガラス

細工のような加工を施した」「あえて色をつけずに素焼きで仕上げた」「ペットボトルのキャップで模様のアタリをとった」など、作品製作のうえで工夫された点をたくさんお話いただき、皆さんの熱意を感じることができました。また、看板からポスターまで、メンバーの方で全て自作されていたり、触れることのできる展示品が用意されていたりと展示会そのものにも工夫が凝らされ、皆さんで良い展示会を作り上げようというこだわりを感じました。

展示会取材させていただいた後は、実際に陶芸制作を行っているところも見学させていただきましたが、作品の作り方を解説していただいたり、皆さん丁寧に作業をされていらっしゃる姿を拝見することができました。

以下、メンバーの方々の感想をいただきましたため掲載いたします。

- ・先日、今月号の記事のようにデイケアの陶芸プログラムの展示会取材して頂きました。そのため、今回は特別編として陶芸プログラムに参加されている方々の声を集めました。展示会の準備に関することや後日談、さらに展示会を機に!!最近新たに参加し始めた方の感想も伺いました。(スタッフ K)
- ・最初は作品が集まるかわからなかったけど、いっぱい作品が集まり楽しかった(展示会長:T.H)
- ・アンケート用紙の作成及び集計作業など裏方業務を行っていたが、文化祭の後作業のようで懐かしく楽しい展示会だった。(M.I)
- ・「陶芸」の字のバランスが難しくて手伝ってもらった。(H.S)
- ・陶芸作品という作業を通してやる気・根気・集中力が身に付き楽しかったです(T.A)
- ・初めて陶芸をやりました。粘土が柔らかくて思い通りに形作るのに苦心しました。とても楽しかったです。(S.K)
- ・ポスターづくりは思ったより大変でしたが、いい経験が出来ました。(M.S)
- ・デイケア内で行われた陶芸展示会のアンケートでも皆さんから好評の声を頂きました。また開催して欲しいとの声も頂きましたので、次に向けて頑張ろうと思います。(展示会長:T.H)



あかね会 バザー

11月24日に烏山病院正面玄関前にてあかね会のバザーが開かれました。最近ではコロナ禍で開催を自粛しており、今回は4年ぶりの開催となりました。

病院前の通りには一面お店が立ち並んでおり、衣類やお菓子、雑貨など、あらゆるものを取り扱っていました。

久しぶりの開催ということもあり、バザーは近所の方や当院の患者さんなどで賑わっていました。

以下、デイケアの利用者さんからの感想です。



2023年の11月24日（11月17日の雨天変更）に、あかね会のバザーが烏山病院正面玄関前で行われました。4年ぶりに開催された今回は、デイケアのプログラムの広報委員会の一環として見学してきました。

今年は10時から14時まで行われ、衣類や手作りの雑貨・アクセサリ類・お菓子やおもちゃなどが売っていました。個人的には、おじさんの顔をした植木鉢が印象に残りました。

衣類を大量に買ったデイケアメンバーさんもいたようです。デイケアのスタッフさんも毛糸のコースターやスコーンを買っていました。皆さん、久しぶりの開催ということでも盛り上がっていました。

広報委員会の活動としてあかね会の方にインタビューをしたところ、商店街でのアナウンスがあったり、ご近所さんからのバザーの出品物の提供や、応援・サポートを受けて開催しているとの話を聞きました。このような地域との繋がりがあって、あかね会のバザーが作られているのだと思いました。

私も4年前にも見学して、今年はデイケアのプログラムとしての参加でしたが、バザーの雰囲気を楽しみに感じられてよかったです。



デイケア活動 私が好きなお楽しみ会のプログラム

Tさん

今回私が紹介するのは、毎週水曜日に行われているお楽しみ会のビンゴ大会です。お楽しみ会は毎週プログラムの内容が変わっていて、色んなプログラムが楽しめます。ビンゴ大会のルールは、2つビンゴが出たら上位者に景品でお菓子か飲み物が進呈されます。これがビンゴ大会の楽しみの一つです。参加賞もあります。参加賞は全員に小さい一口サイズのお菓子が一つ貰えます。景品の内容によっては気分が高まる時とそうでない時があります。景品はビンゴになった人から順に選べます。欲しい景品が貰えるかは運次第です。

某日に私が参加した回では、時間が30分経ってもビンゴの人が出ずに、長時間の苦闘でした。そのため、ビンゴが出たら盛り上がりました。私自身も4番目にビンゴになって、その中で一番欲しかったチョコレート菓子を選びました。ビンゴ大会は一時間の景品争奪戦になって、会場は盛り上がりっていました。そんなわけで、私はビンゴ大会がお楽しみ会の中で一番好きです。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時

土曜日 8時30分～12時

◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

《10月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,568(8,554) 6,586(6,223)

◇一日平均患者数 276.4(285.1) 263.4(259.3)

◆診療実日数 31(30) 25(24)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

暦上は冬であっても、今年の11月は暖かい日も多い月でした。町の中にはハロウインの飾りつけから、クリスマスに向けた商品だったり、飾りつけだったりちらほらと見られ始めています。その一方で、外を散歩しているとちょうど紅葉した木々が見られ、自然の流れだけゆっくり進んでいるようで、なんとも不思議な気持ちになりますね。

段々と年末に向けて忙しくなる時期ですが、ゆっくりとした気持ちは忘れず、体調に気をつけて1年を走り切りたいものです。

(広報委員 今村)

